

ある日。
僕は叔母に呼び出され、

その日の夜に
叔母の家にやってきました。



叔母さんは母さんの妹。
おっとりとした母さんと違って
ハツキリとモノを言うツバサバとした性格。

僕が小さい頃は
叔母さんは僕を我が子の様に
可愛がってくれていた。

五年前に結婚したものの、
夫婦ともども、仕事が忙しく、
旦那さんは海外への出張が多い。

子供はいない。



そのせいか、旦那さんが留守の時は
僕はよく呼び出される。

気の強い叔母さんも
寂しい事があるのかな。

ただ、今晚はいつもと様子が
変わっていた。



こんばんは
光二です。

あら、コウちゃん、
いらっしやうい。
私はリビングに居るわよお。



うふふふふ
今夜はコウちゃんか
来る日だから嬉しくて
お酒出しちゃった。

さあこつちに着て
一緒に飲みましょ

えっ…あぁ…
う、うん。

あれ？

この酒って、叔父さんが
自分専用に使ってた
精力増強活力酒だったよな。

叔母さん、そんなこと知らずに
この酒を見つけたのよ。



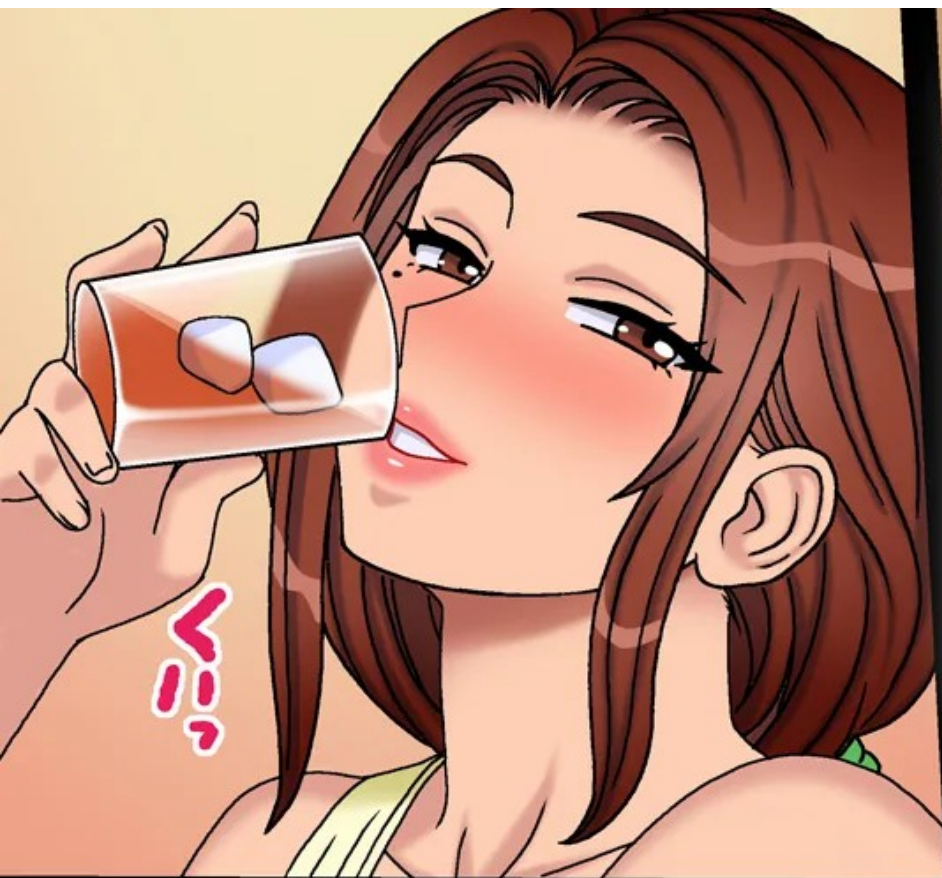
それにしても…
すごい恰好…!!



叔母さんの室内着って
こんなに際どかったのよ？



もしかして、
あの活力酒って
本当に効いてるの？



叔母さんのエロい恰好
見てたら勃起しちやった!

あつ……!



瑞希は口に含んでいた
酒を光一の口の中に
注ぎ込んでいった。

唐突のティープキスに
硬直する光一は
口移しされた酒を
そのまま飲み込んでしまう。



え?

な、なに?



!!

オチッ



い、いきなり
画面うつ

うふふふ
飲ませちゃった...



コウちゃんも
そんな気持ちに
なってきたでしょお??

ごめんねえ
なんだか今夜は
身体が疼いて
仕方がないのよ。



たった一口で
こんなに効くのか!

ううう...
身体が熱い



かばっ

おッ!



だから一緒に
気持ちよく
なりましょ??

これはきつと
お酒のせい。

えっ……！
なにこれっ？

信じられないっ！
叔母さんが
僕のチンポを……！

ちゅぽっ

ちゅぽっ

くぱっ





あめめ……でも、
僕もおかしくなっている。

やめてくわうって言えないう……

やめて欲しいなって思えないう……

ちゅぽぽ

ちゅぽぽ

叔母さんのフェラチオが
本気過ぎてヤバいっ

ちゅぽっ

人妻になると旦那さんとの
セックスが多くなつて
テクニクがプロ以上になるつて
本当だったんだ！



ちゅぽっ

ちゅぽっ

ふふふ、どうう？
先っぽからカウパーが
溢れてるわよ♥
気持ちいい？

う、うん

もっ…イキぞう

いいわよ。
唇でイかせてあげる。



瑞希は射精寸前のペニスに再び唾えると、トドメとばかりに頭を激しく振った。

あッ

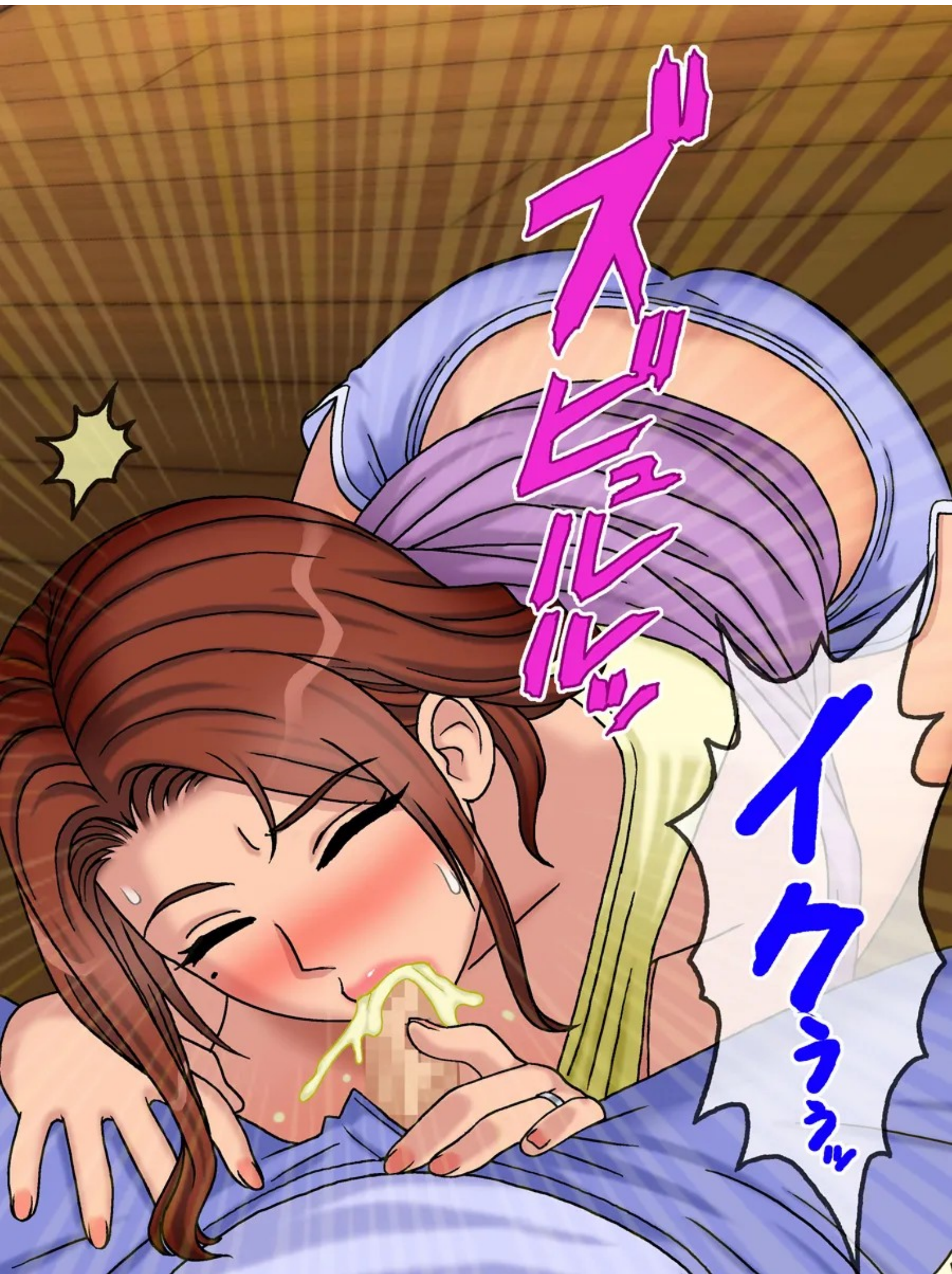
あ



あッ

じゃぼっ

ずぶっ
ずぼっ

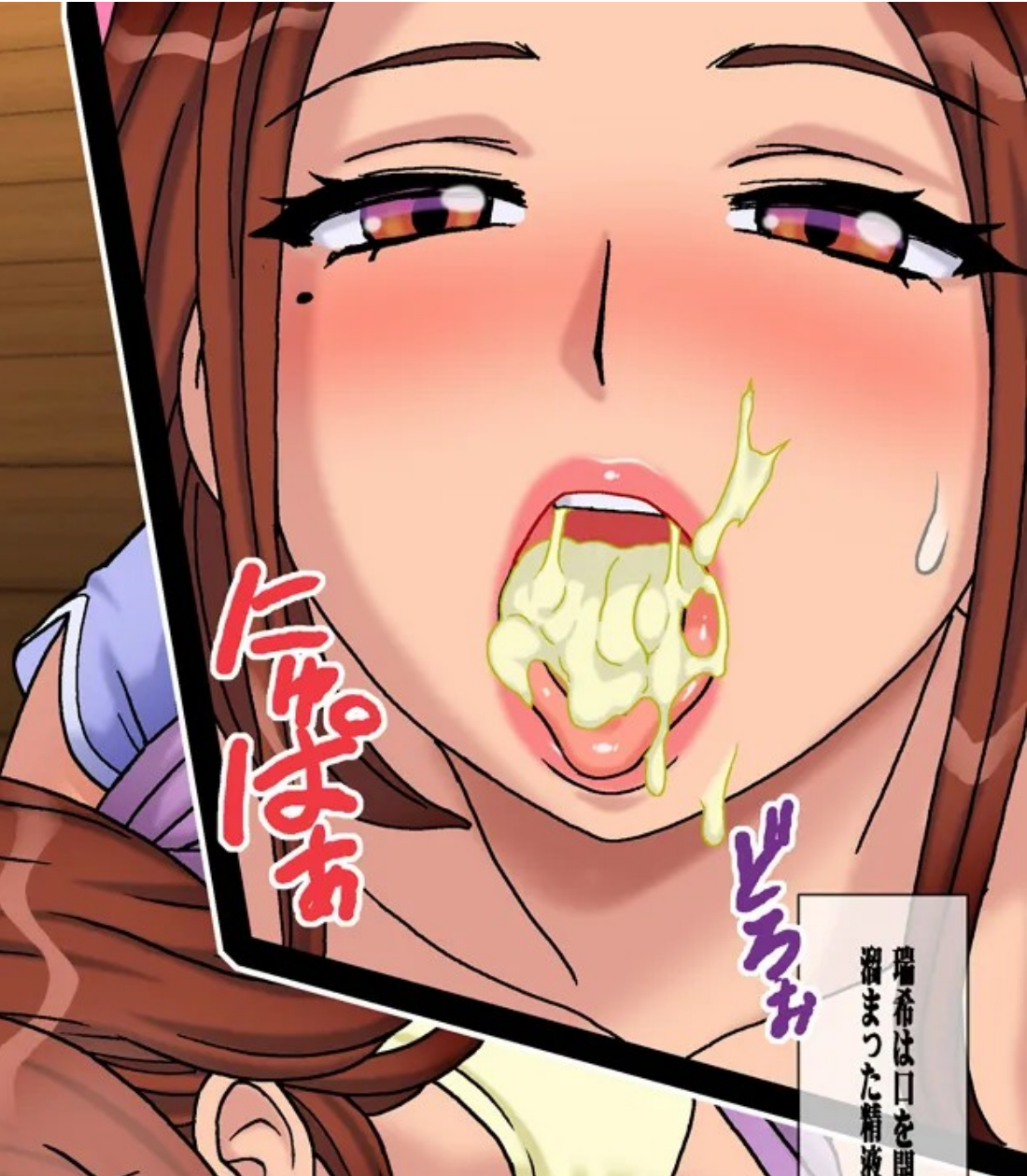


あーん
うんちがまた出てくる

口の中心からまたまた……



ああ……
やっぱり若い子の精液は
濃くてドロドロしてるわ。



んやほお

どろお

瑞希は口を開いて
溜まった精液を見せつけた。



人妻の本当のエロさ…
コウちゃんにたつぷり
味あわせてあげる♥

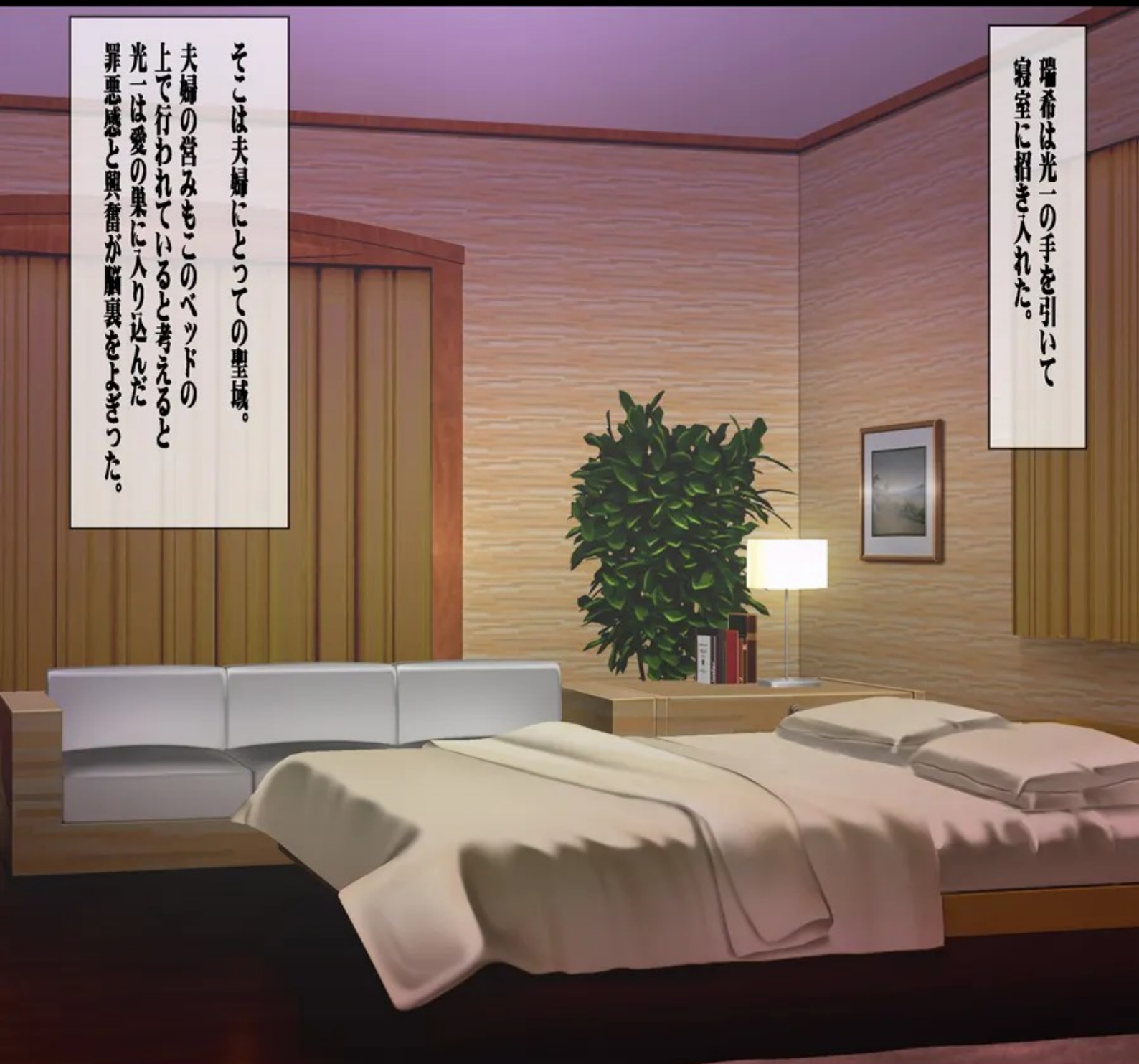
フェラチオなんて、
風俗みたいなブレイ、
コウちゃんの彼女は
してくれないでしょ？



瑞希は光一の手を引いて
寝室に招き入れた。

そこは夫婦にとつての聖域。

夫婦の営みもこのベッドの上で
行われていると考えると
光一は愛の巢に入り込んだ
罪悪感と興奮が脳裏をよぎった。



ふふふ
夫婦の寝室に入ったなら
今夜はコウちゃんか
私の旦那様よ。

たつぷりと
夫婦の営みで
愛し合いましょ♡

ずるるる...



うわあ……！
叔母さんのブラ、大きさがヤバい！
巨乳だとは思ってたけど、
こんなに大きかったなんて！

それに……、
すっごく良い匂いがする。

ブラを引き抜いたときに
叔母さんの匂い濃くなったー！



私のおっぱいの大きさと、
気に入ってくれた？

アンダー72センチの
Iカップよ。

男性好みの
たぶたぶ巨乳でしょ？



えっ？

おっぱいの匂い？

ブラジャーが気になる
ですって？

それって…
ブラジャーの内側を
見せて欲しいってこと？



ふううん
…仕方ないわねえ…

…



さっきのお酒を飲んでから
妙に体が汗ばむのよ。

おっぱいの汗がブラジャーに
沁み込んだのが匂ったのかしら

こんなのが見たいだなんて
コウちゃんも結構な変態くんね。



だが、光一が感じたのは
単なる汗臭ではなかった。

女性の肌特有の
鼻を揉る甘い香り、
雄を誘発する
女性フェロモンだった。



瑞希は履いているショーツパンツと
パンティーを脱いだ。

光一を挑発するために
わざと光一に尻を突き出して。

ふふふふ♡

あらあら、駄目よ。
女が脱ぐところをそんなに
見つめるものじゃないわ。



剥き出しになった瑞希の
大きな臀部を目の当たりにして
光一のペニスは大きく勃起。
だが、光一はその怒張肉茎を
隠すことはしなかった。

ふふふ、嬉しい。
オバサンの体でも
そこままで興奮して
くれるのね。

ズ
ズ



瑞希は仰向けにさせた光一の体に跨った。

勃起したペニスの上に
陰唇のクレヴァアスを押しつけつつも
挿入はせずに光一を焦らした。

ふふふふ……
コウちゃんつたら、
挿れさせて欲しくて、
可愛い表情しちゃって……♡

くしゃ

くしゃ





いいわよ。
それじゃあ
挿れるわね

あ……あれ？

叔母さん、コンドームは
着けなくていいの？

……

避妊とか……

く
ん、ん、ん



コンドーム？
着けたい？

そんなもの着けない方が
気持ちいいわよ？

あ、あの…
じゃあ…

そりやあまの…
着けないと
相手が嫌がるから…

コウちゃんは
セックスするときは
避妊具着けるの？



へえー
コウちゃんにはコンドーム無し
セックスは初めてなのね？

じゃあ生オマンコの
快感を味あわせてあげる

ぬちゅ

あ……



根元まで全部入ったね。

オマンコの中でオチンチンが
ビクビクしてるけど、
挿れただけでイっちゃいそうに
なったり？

ま、まだ
大丈夫だよ！

我慢強いのね、素敵だわ。
じゃあ、動くわよ。





コンドームを着けずに
セックスする
オマンコの中はどお？

膣の中で沸き出す愛液の感触や
亀頭に吸い付く様に絡む膣粘膜の
肉壁の一枚一枚の粘り気……

ぬちゃ

いよいよ

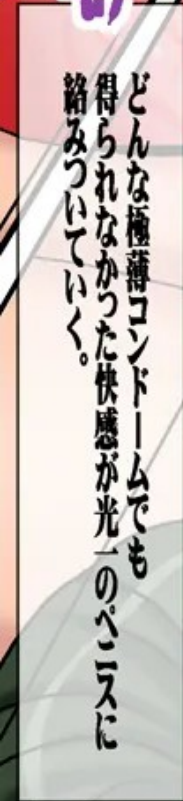
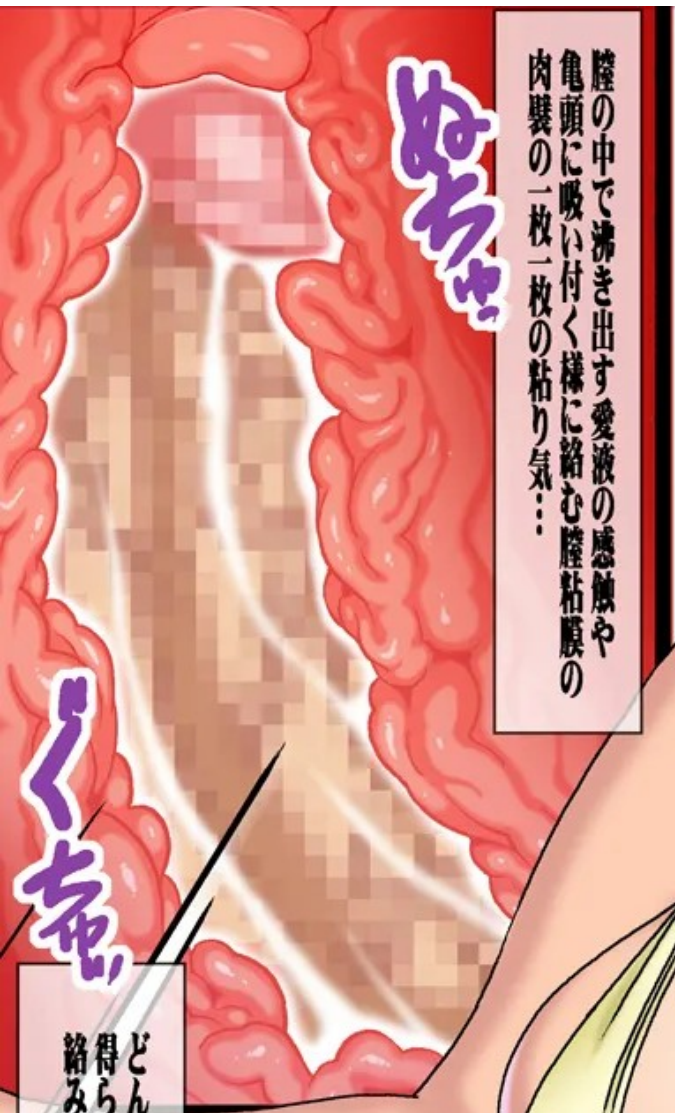
ギ
ニ
ギ

ギ
ニ
ギ

きもちいいー！

どんな極薄コンドームでも
得られなかった快感が光一のペニスに
絡みついていく。

ぐちゃ



腰を大きく動かしても
オチンチンが大きくて
オマンコの中から抜けないのね。

コウちゃんのオチンチンつて、
私の身体と相性よさそう♥

ぽん

ギョ

ギョ

ぽん



ペニスの抽送が激しくなっていくと、
亀頭が陸の中で感触の異なる部位を深く擦る。

あーん
びんびん

その都度に瑞希の身体はビクンと震え、
甘い声を漏らしてしまふ。

そこは俗にいう「Gスポット」といわれている性感帯

光一はその僅かな反応を見逃さなかった。



あんっ♡
いらねえよ

叔母さんの声が
エロくなつた……!

叔母さんの感じるところはお腹の下辺りなのかな

ぐにゅ

むにゅん

ギ
ニ
ッ

ギ
ニ
ッ



うふふふふ
若い子はがつつきが
すごいわね。

私を感じさせようとして
必死に腰を振って、
私の弱い所を探してる…

そんなに求められると
気持ちに応えたくなくなっちゃう♡



ぽん

ぽん

ぽん

体位を変えましょう。

今度は後ろから。
コウちゃんの好きなように
思いつきりオチンチンを
挿し込んでちょうだい！



光一は瑞希の下半身に抱きつくくと
愛液が垂れる膣口にペニスを入
れ込み、腰を激しく動かした。

あつ……あんのっ♡

ズズズズ



この体位なら
叔母さんの弱い所を
擦れやすくなってる。

もしかすると
叔母さんをイカせることが
できるかもしれないっ！





あ、

あ、あ、あ、

ズズ

ズズ

ズズ

この子う、狙ってる！
私の感じやすい所う…
知ってて、狙ってきまってるう！

この無恥な
アナルを、アナルを…

グ
グ
グ

グ
グ
グ

オチンチンが

ぱん

オチンチンが
私の気持ち良い所、
集中して突いてくるっ！

腰の動かし方も
激しくて素敵っ♡

コウちゃん、
ウチの旦那よりも
セックスが上手かもっ！

ぱん

ゲキッ

ズキッ



あんなに♡
可愛...

コウちゃんのオチンチン
良過ぎて、私の方が先に
イカされちゃいそうッ♡

ぱんぱん

ぱん

ぱん

ぱん



叔母さんの表情に
余裕が消えてる……!

これって叔母さん、
イク寸前じゃないの？

見てみたい！
叔母さんのイキ顔！

んっ♡

んっ♡

あっ♡

グチゅっ

グチゅっ

グチゅっ



光一は腰の動きを更に激しくさせて、強引に瑞希を絶頂させようとする。

ぱん

グチュ

ぱん

ぱん

グチュ

だが、光一の絶頂も我慢の限界。射精を目前にして、鈴口からはカウパー液が漏れ出している。



叔母さん

僕…、
もう出さうっ…!!

ぱんっ

ぱんっ

ゲチっ

ズグ

ぱんっ

いんちやう
私を…もう…っ♡





おんおんおん

んんんん

ゴゴゴゴ

んんんんんん

ほ、本物の潮吹き…
初めて見た！

僕が叔母さんに
潮を吹かせたんだ……！

はぁ

はぁ

はぁ

おん…おん…



ふふふ
コウちゃんに
イカされちゃった…♡

甥っ子にこんな
恥ずかしい女の部分を
みせちゃうなんて…
これって、オラオラの
お酒のせいなのかしら



瑞希は乳房に付着した精液を指で掬い取ると、そのまま舌に絡ませた。

あんなに興奮してたのに、腔の外で射精する自罰心はちやんと持ってくれてたのね。

活きが良くて女を妊娠させる気満々のこんな精子を注がれてたら危なかったわ♥

ふふふ♥

ふふふ♥

ほら、膣の穴間から
見えるでしょ？
子宮が下りてきているの。

赤ちゃんを作り易くするために
子宮がオチンチンを迎えに来てるのよ♥

今、コウちゃんにイカされたおかげで
体が発情したせいよ。

くばぁ♥
ばぁ♥





こんな状態の女を抱くのつて
スリルあるでしょ♥

きつと、さつきのセックスよりも
気持ちいいわよ。



いいわよ。
そのままオチンチンを挿し込んで。

ぬいっ

人妻を妊娠させてしまおうかもつて
ギリギリの快楽を楽しみましょう♡



光一は再び陰の中で
ペニスを挿送させた。

ぱんっ

ぱんっ

たぶん

ズグッ

たぶん

あっ
はあ
あっ

ズグッ



あう あんう

もっと強くっ…
もっと深く突いてえええっ!

ぱん

ズチュッ

いいわあう!

コウちゃんの
オチンチン最高よあう♡

ズチュッ

あっ♡
あっ

ぱん

あん♡
あん♡



目の前で叔母さんの
巨乳が弾みまくるっ！

すっぴんヒロイン！

もつと腰を大きく動かして
乳揺らしを激しくさせたっ

ぽん

ぶるん

ぶるん

ぽん



ゴリッ

ゲリッ

ぱん

ぱん

先っぽに当たっているのって
子宮口の入口だよな…

本当に子宮って
降りてくるんだ

叔母さん、本気で
赤ちゃん欲しがっているのかな



子宮を突かれてると…

お腹の中が蕩けて
頭の中が真っ白になっていく…

ぱん
げん
げん

えん

駄目だ、駄目だ
勢いに負けずに
射精は外に！

危なくなつたら
チンポを抜く！

ぱん

ぱん



その刹那、
瑞希は光一の体には腕を伸ばし、
グイッと抱き寄せた。

絶頂を迎える時の
瑞希の癖なのだろう。

うぎゅっ！
顔におっばいが……！

ぐいっ

あっ♡
あっ♡





ばん、ばん

ばん、ばん

乳首をそんなにエツチに
ペロペロされたらイッチやうっ♡

ああんっ
今、おっぱいは敏感になつてるの。



れろ

れろ

ズキ
ギキ

ちやうらららららッ

ちやばッ

おっぱいは吸っちやだめっ
吸われた刺激が乳腺に響いて
おっぱいが疼くのっ!

ん・あッ

ぽん
ぽん

ぽん



子宮が火照る……

これっっ……
排卵するときは
感覚とぞろぞろり……

ぽんっ

排卵する周期は
まだ先なのに……。

この子のセックスが情熱的過ぎて
私の身体……夫相手の子作りと
勘違いしてるんだわ……♡

あっ

あっ

ぽんっ

ぽんっ



お、叔母さんっ

はぁっ♡

そろそろイキそうっ！

はぁっ♡

射精……きこさっやっっっ

あっ

あっ♡

ぱんっ

ぱんっ

う、うんっ！
もう我慢できないッ！
チンポを抜くから
腕を離してっ！

ぱんっ

ぱんっ



瑞希は両脚で
光一の体を「カ」ばさみ「す」と
そのまま光一の下半身を引き寄せた。



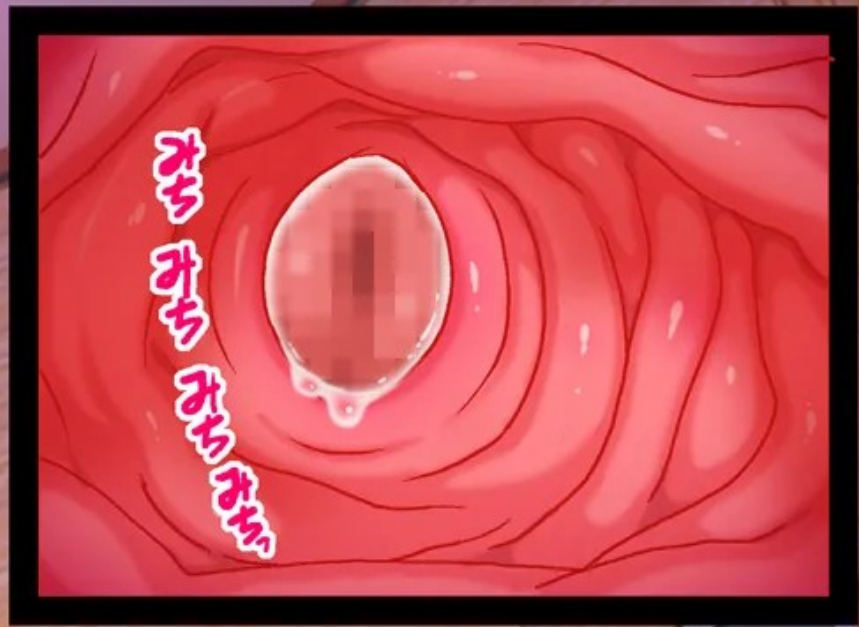
陰外射精するために肉茎の半分が
抜けかけていたが、再び根元まで
引き戻されてしまった。

えっ？

お母さん……
叔母さん……

ガ
ニ
ッ





瑞希は両脚の力を強め、
龟头は子宮口の穴を
強引に押し広げていった。

あつ……あのあつあ
叔母さん、叔母さんっ！

もう無理っ！
出ちゃうっ

ぱん
ぱん

あっ

あつツ……イクっ

もう……イクっ♡

あん

ぱん
ぱん





あああああ
14

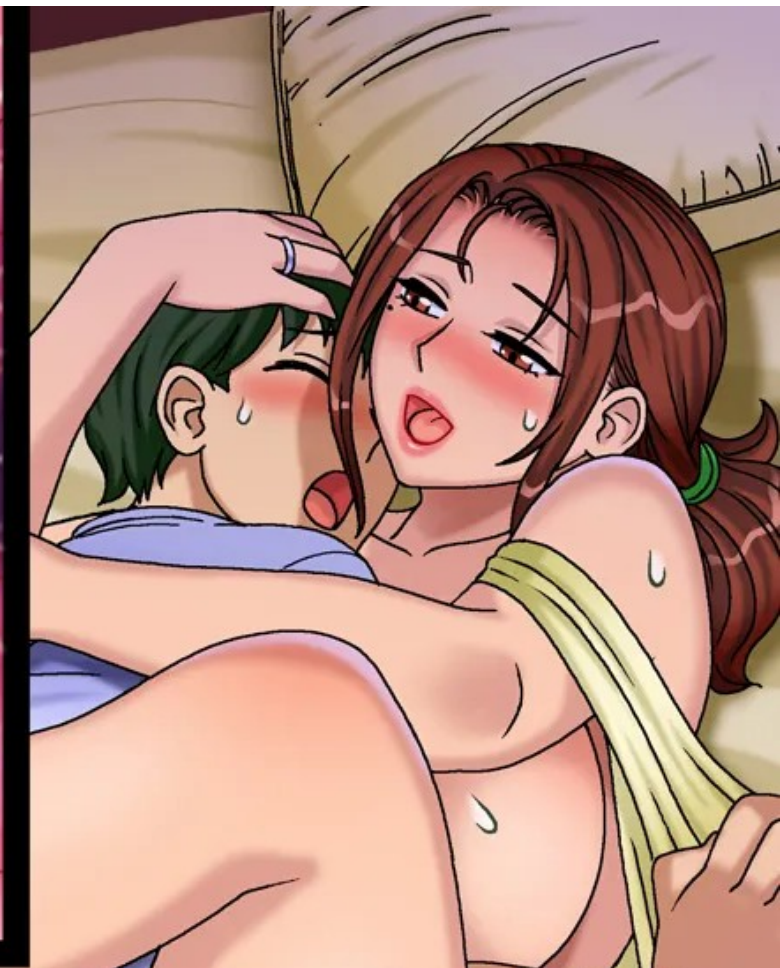


叔母さん、ごめん。
中に出しちゃった…

いいわよ、気にしないで。
私がコウちゃんに
抱きついちちゃったせいだもんね。

ふふふ…

ふふふ、心配ないわ。
危険日はまだ先なの。
妊娠はしないわ。



ふふふ...
なんてね。

コウちゃんの子種、
しつかりと貰っちゃった♡

今頃はコウちゃんの子種が
私の卵子に遺伝子を遺伝子を
注入してくれてるわね。

ほら、見て

こんなに沢山の精液が
オマンコの中に注ぎ込まれてたの。

それだけ私のオマンコが
気持ち良かったのね。
嬉しいわ♥

ドポポポ

ゴポポポ

これが…
僕が射精した精液？

オナニーした時に出る
量よりも遙かに多い……!

それにこの粘つきとトロみ…
まるでロールタルミみたいだ

コウちゃんの雄の証よ。

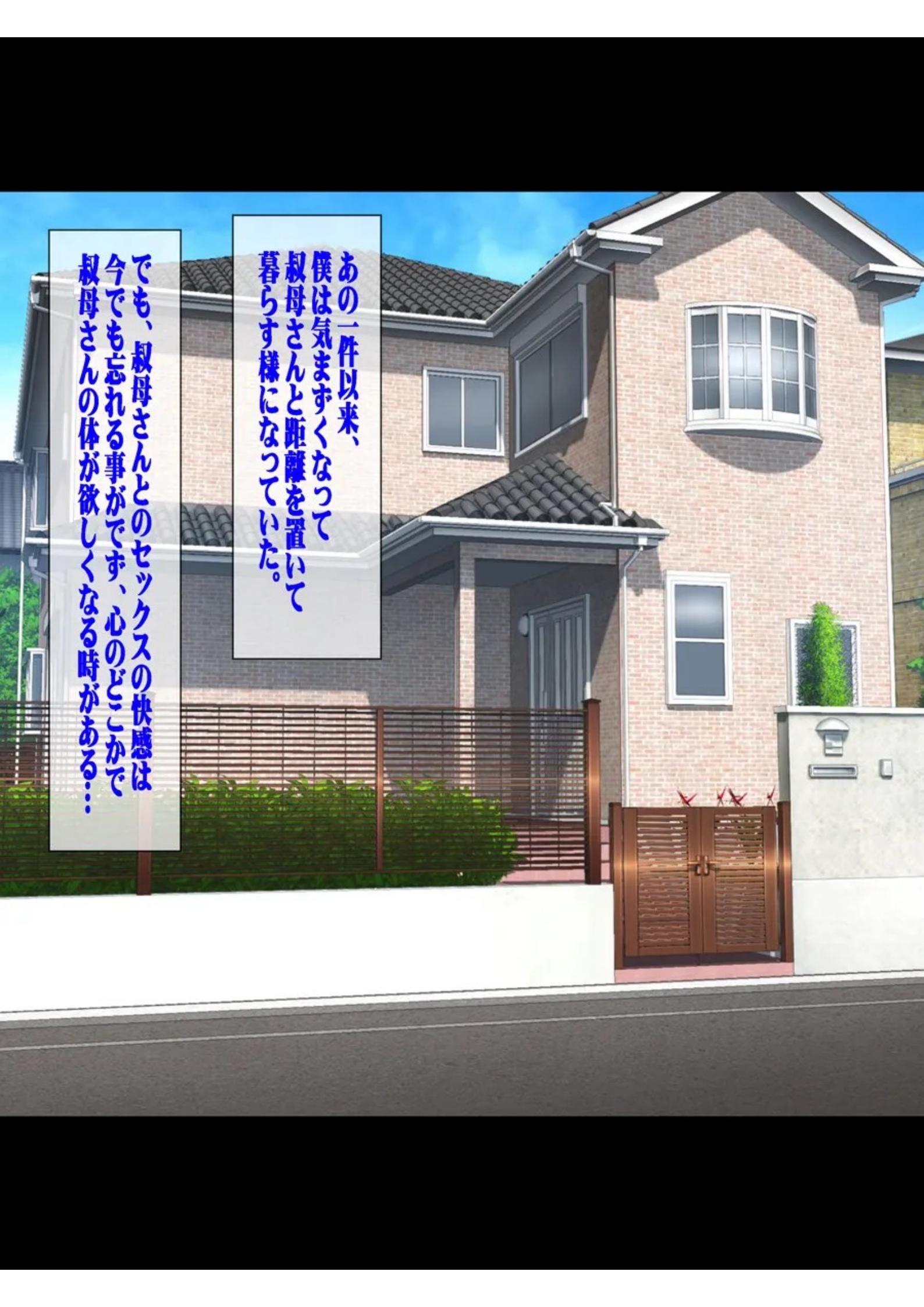


オナニーやコンドームを付けたときに出しちゃう
「女を妊娠させる気のない」精液とは違うの。

男の人が本気で相手の女性を
妊娠させる気になつた時だけ
こんなに濃厚な精液を
射精することが出来るのよ

だからこれはコウちゃんの雄の
立派さを示す証明なの。



A two-story brick house with a dark tiled roof. The house features a prominent bay window on the second floor and a smaller window on the first floor. A wooden fence with a double gate is in the foreground. The sky is blue with some light clouds.

あの一件以来、
僕は気ますくなくて
叔母さんと距離を置いて
暮らす様になつていた。

でも、叔母さんとのセックスの快感は
今でも忘れる事ができず、心のどこかで
叔母さんの体が欲しくなる時がある……

数ヶ月後

光一は母親から頼まれた用事のために
瑞希の家に訪れることになった。



いらつしやい、コウちゃん
久しぶりね。

叔母さんに子供が出来たって
母さんから聞いたよー。

ずいぶんお腹も
大きくなつてたんだね。



ええ。
さつき、検査から
帰って来たの

叔父さんも大喜びしてたよ。
念願の子供が出来たって。

ふふっ
そうね。



ん〜
でも…

コウちゃんには
本当のことを
言った方がいいかな。

えっ？



お腹の子、
うちの人のじやないの。

え？ ええ？

だって、彼の精液には
精子が無いから。

彼自身はその事は
知らないけどね。



えつと…

わざわざそれを
僕に話したって事は…

そうよお

コウちゃんが
お腹の子の父親よ♥



甥っ子の子供を身籠ったことを
あつけらかんと語る瑞希に
度肝を抜かれる光一。

まあ、子供を作る方法は
他にも色々あったんだらうけど…

私はコウちゃんやんの赤ちゃんが欲しくて
貴方に種付けして貰ったの。



ほら、このお腹の中で
コウちゃんのを赤ちゃんを
育ててるの。

触って確かめてみて？



この中に僕の子供が…

ママのお腹の中をよく蹴る
やんちゃな子よ。

姉さん(光一の母)のお腹の中でも
コウちゃんはこんな感じだったのかしら



あら…
コウちゃんのおチンチン、
勃起しちやってる？

私の足に熱い塊が
押し付けられてるわよ。

私の妊娠したお腹を触ってて
欲情しちやっတာ？

あっ!



だって、叔母さんの体、
すっごくエロい匂いがするんだもん。

こんなの我慢できるわけないじゃん

ふふふ。
気付いちやった？

コウちゃんとセックス
してから半年以上も
経ってるから…

私もコウちゃんの体が
忘れられなかったの。



それに…
コウちゃん気付いた匂いって
甘い匂いも混じってたでしょ？

それは多分これね。

瑞希は背中に手を回すと
ブラジャーのホックを外した。



ブラジャーを脱ぎ取った瑞希は
カップの裏側を光一に見せた。
カップは母乳が染みて濡れていて
濃厚なミルク臭がしている。

こういうの好きでしょ？
最近、母乳が出るようになったの。

とろろ



自分の母乳で濡れた下着を
見せるって、結構恥ずかしいのね。

実はこの事、ウチの人は
まだ知らないのよ。

旦那や赤ちゃんよりも先に
おっぱい飲ませてるわ♥



その代わり、コウちゃんの
オチンチンミルクも飲ませてね。

今なら安定期に入ってるから
オマンコも使えるの。

ほ、本当に？

ええ。
寝室でたっぷり
愛し合いましょ♡





ああっ
いいわあッ

オマンコの深いところまで
オチンチンがグサグサまきこてるっ

ぽん

お、叔母さん
ごめんっ……!

気持ち良過ぎて、
腰の動かし方を加減できないうっ

ズイッ

ゲテッ

ぽん
ぽん

ああっ
ああっ

ふふ…
でも、子宮への直突きは
避けてくれるのね。

パパの自覚が
芽生えてるのかしら

ブルン

タイン

やつぱりコウちゃん
の赤ちゃんを
妊娠してよかったわ♥

ぽんっ
ズブ

ぽんっ

ズブ



その刹那、瑞希の乳首から
乳白色の体液が溢れ始めた。

あつ……！
これって……！

ぱん、

ぱん、

あはっ♡
母乳が出てきた。

出産前だから母乳の出が
安定しないのよ。

タイン

ドロドロ

タイン



大きな乳房が揺れる度に
母乳がしぶき、光一の欲情を
瞬く間に煽っていく。

どゅん

どゅん

どゅん

ぱん

叔母さん…
僕、叔母さんのミルクが
野みたいっ！

ぱん

いいわよ。
コウちゃんの子種でこの母乳は
出てくる様になったもん。

これはコウちゃんだけのものよ。

どゅん

母乳を待ちわびた光一は
瑞希の乳房にむしやぶりついた。

瑞希の母乳は
止めどもなく溢れている。

授乳の為の乳首の
吸い方など知らずとも、
しゃぶりついてしまえば、
勝手に母乳が
口の中に流れ込んでくる。

ぶちゅっ

あぁんっ

ジュルル...



ぱんっ

叔母さんのミルク、
おいしいっ！

ちゅぽ

ちゅぽ

ぱんっ

いいわよっ
おっぱい吸われてるだけで
乳腺が気持ちいいっ♥

まだ、赤ちやんの分なんて
考えなくていいのっ。
思いつきり吸いだしてえっ

光一は存分に母乳を堪能すると、乳房から唇を離し、ペニスの抽送に集中した。

ああああんっ♡

さつきよりもオチンチンの動きが激しくなった！

ガールンッ

ガールンッ

ズチュッ

ズチュッ

きてえっ！
ミルクで元気になった
オチンチンで
私をイかせてっ！



うっ……！
ほ、僕……もうイクよっ！

うっ……！

ぱんっ

出してっ！

オマンコにコウちゃんのみルクを飲ませてっ！

ぱんっ

あっ

あっ

あっ

ぱんっ

私もっ
もうイクっ♡

ぱんっ



はぁ

はぁっ♡

はぁっ♡

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

ふううう…
気持ちよかったよ
叔母さん…♡

あいかわらず
凄い量の精液ね…

臨月間近の妊婦を
妊娠させるつもり？

コウちゃんの精液だったら
そんなことも出来ちゃいそう♥

ゲップッ!

ゴポッ



お腹の子が産まれたら…
二人目が欲しくなるかも…

その時はまたコウちゃんか
種付けしてくれる？

えっ？
僕がまたやっつてんの…



ええ、もちろんよ。

コウちゃんそつくりな赤ちゃんだったたら
二人目でも三人目でも産みたいわ。

そして数ヶ月後
瑞希は二人目の
子供を身籠った

THE END



ひびひび... ひびひび... ひびひび...!!

はぁ!!

はぁ!!

は...はいっ!!

はい、西田さん。そろそろ赤ちゃんの頭が見えてきますよ。

こちらの掛け声に合わせてリズム良くヒッヒップーして下さいね。

ピクミン

ピクミン



待ちに待っていた
コウちゃんの赤ちゃん…
悲鳴を上げてばかりじゃ
勿体ないわっ!

あうっ!

ズッ

あっ…あああっ!
はううううううっ
もうすぐっ…
コウちゃんの赤ちゃんが
産まれてきてくれるっ

普段は閉じている子宮口を
強引に割り開き、
胎児産口に降りていく。

分娩の痛みは正にこの子宮口を
こじ開ける時の苦痛なのだ。

腔内から押し出される胎児に
産口は裏側から肉穴を
押し広げていった。

ぐぽあ



あああああ

ビクッ

ストチュルルルッ

いいですよっ
もう少しですよっ

慌てずゆっくりと
お腹に力を入れてっ



はあ...
はあ...
はあ...

はあ...
はあ...

子宮に残った胎盤は
臍帯を引っ張ると
スルリと膣口から
滑り落ちていった。

医師は産まれたばかりの
赤ん坊の処置を施すと
胎盤の取り出しに
取り掛かった。



ああ……！
私の赤ちゃん！

顔つきが「パパ」そっくりなのね。
とっても嬉しい♡

おめでとうございます。
元気な男の子ですよ。

THE END











